

(別添)

整理番号 H19-15

《費用対効果分析説明資料》

事業名	街路事業	地区名	3・4・3号中央町金矢線
-----	------	-----	--------------

【費用対効果の算定内容】

1 費用対効果の算定根拠

算定については『費用便益分析マニュアル』（平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局）による。

本マニュアルにおいては、社会的余剰を便益(B)とし、整備に係る総費用及び維持修繕費を現在価値に割り引いたものを費用(C)として評価するものである。

2 事業全体の投資効率性

(1) 道路整備に要する費用(便益を算出する事業延長L=1.564km)

○総費用(C)=10,672百万円

○総費用算出根拠

道路整備に要する費用から用地取得に要する費用を除いたものに、供用後40年間の維持管理費を加えたものを現在価値化したもの。

(単位:百万円)

区分	事業費①	用地費②	維持修繕費③	総費用①-②+③
費用	10,560	650	256	10,166
現在価値	10,679	111	104	10,672

(2) 道路整備による便益

○総便益(B)=19,868百万円

○総便益算出根拠

道路整備によりもたらされる社会的余剰として、整備後40年間、各項目について整備があった場合の費用から整備が無かった場合の費用を除いた額を便益として、それぞれ現在価値化したものの合計。

(単位:百万円)

区分	走行時間短縮①	走行費用減少②	交通事故減少③	総便益①+②+③
便益	42,338	4,408	2,697	49,443
現在価値	16,985	1,789	1,094	19,868

【費用対効果分析の結果】

$$B/C(\text{事後評価時点・事業全体}) = 19,868 / 10,672 = 1.86$$



一室青森方面

事業箇所



新八戸・野辺線  
(主)八戸・野辺線  
(主)三沢・十和田線  
JR東北線

(主)三沢・七戸線

住吉町

④

③

②

①

2号トンネル L=210m

橋梁部 L=400m

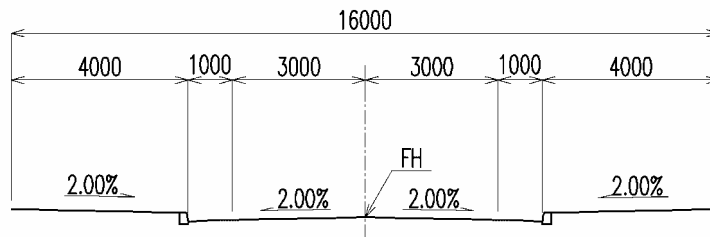
1号トンネル L=150m

3・4・3号中央町金矢線事業認可区間 L=1,564m

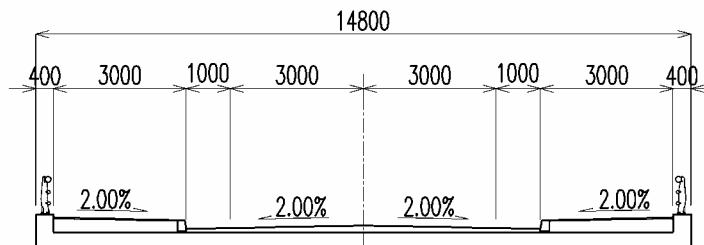
戸町

# 構造図

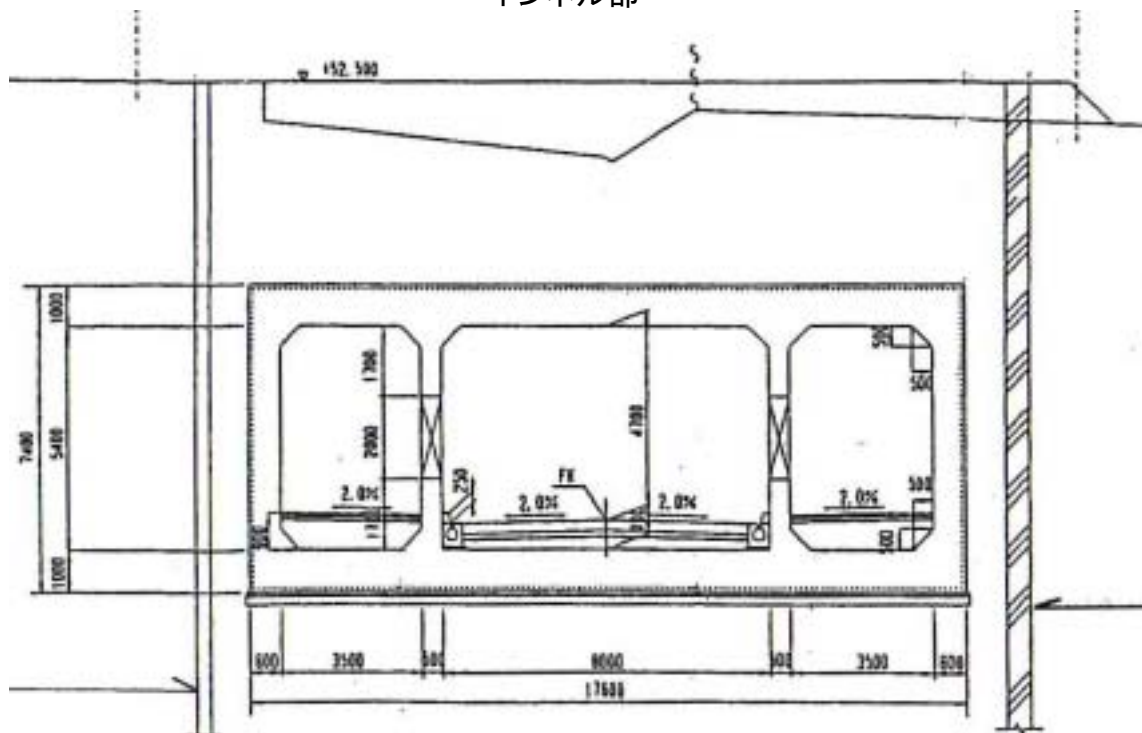
## 一般部



## 橋梁部



## トンネル部



# 中央町金矢線航空写真



①



起点側1号トンネル施工予定箇所

③



2号トンネル坑口部

②

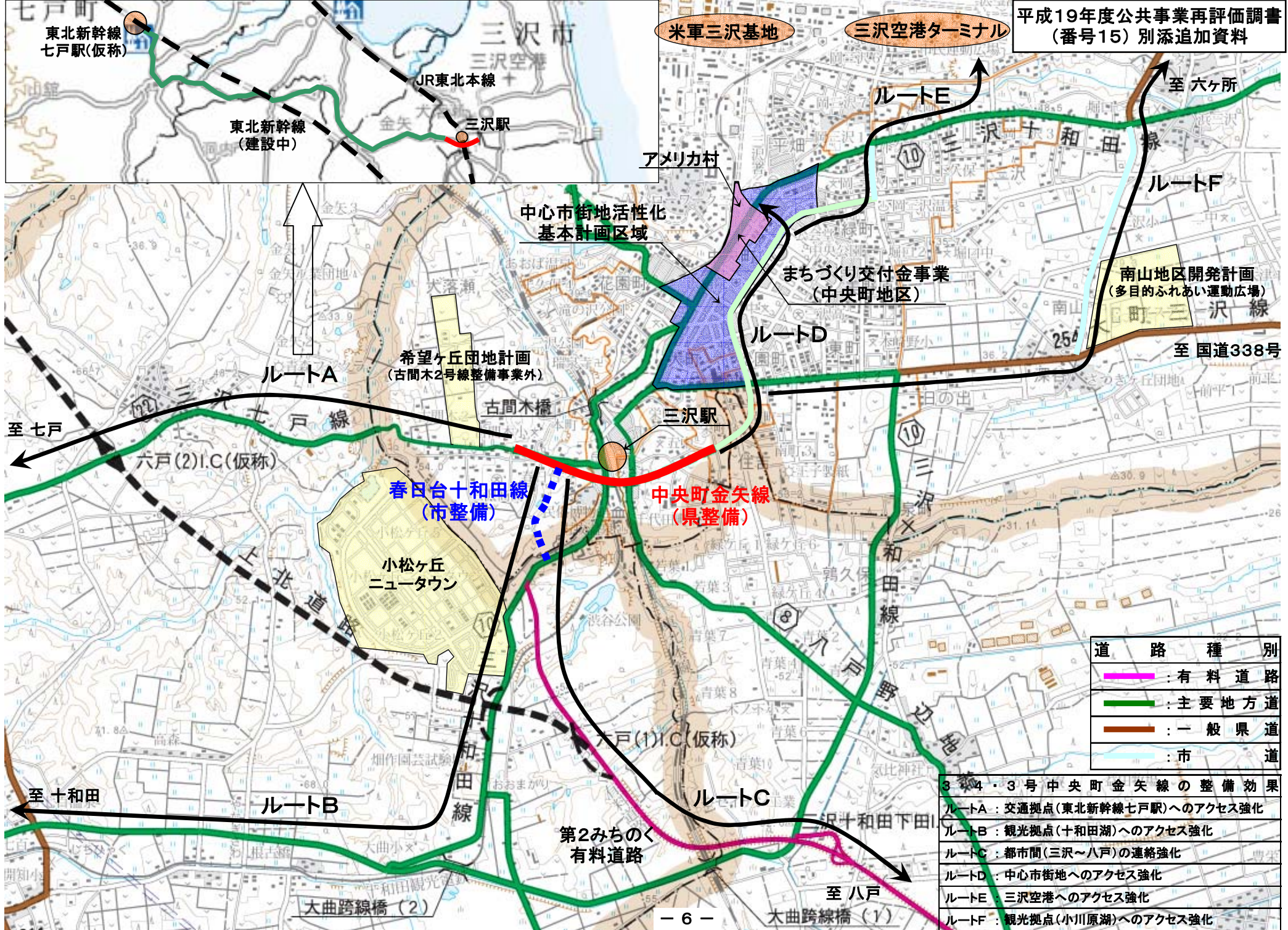


中間部より終点方向(三沢市街方向)を望む

④



終点部(既設市道との接続部)



道 路 種 別	
<span style="color: magenta;">—</span>	: 有 料 道 路
<span style="color: green;">—</span>	: 主 要 地 方 道
<span style="color: orange;">—</span>	: 一 般 県 道
<span style="color: cyan;">—</span>	: 市 道

3年4・3号中央町金矢線の整備効果	
ルートA	: 交通拠点(東北新幹線七戸駅)へのアクセス強化
ルートB	: 観光拠点(十和田湖)へのアクセス強化
ルートC	: 都市間(三沢~八戸)の連絡強化
ルートD	: 中心市街地へのアクセス強化
ルートE	: 三沢空港へのアクセス強化
ルートF	: 観光拠点(小川原湖)へのアクセス強化